

事務事業名	南アルプス周遊自動車道整備促進期成同盟会参画事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	総合政策部		単位番号	2041					
			所属課室	政策推進課		課長名	大芝 久					
			所属担当	行政運営・統計担当		担当者名	三枝 万也					
基本政策	基本計画体系	II	にぎわいと活力あふれる都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政 策		11	道路網の整備		事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ 義務化されている協議会等の負担金	☐ 施設等維持管理事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ その他の事業					
施策		18	生活関連道路の整備									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 H15 年度） ☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）		法令根拠									
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 芦安・桃の木～早川・奈良田間の自動車道整備を促進し、国道52号と南アルプス公園線を最短距離で結ぶ周遊道路として、地域間の交流連携とそれぞれの地域の活性化を図るため、この路線に賛同する市町村で構成する同盟会に参加する。 協議会事業 ①国・県への陳情 ②広報活動 ③ルートの調査研究					事業費の主な内訳（ H24年度 決算見込）						
						項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
						法令外負担金	445					
										計		445

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	定期総会(南アルプス市桃源文化会館)の開催準備・出席、会費の納入
25年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
賛同市町	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
同盟会に参画することで芦安桃の木ー早川奈良田間の自動車道整備に係わる共同での陳情活動や情報の共有・連携が可能となる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
芦安地域の過疎対策の一環として、当該地域の利便性の向上及び活性化が図られる。	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 総合等への参加回数	回
イ 同盟会負担金金額	円
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 協議会会員数	団体
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 情報収集回数	回
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 目的地までの移動時間が短縮されたと回答した市民の割合	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	750	445	250	250	250	250	
	事業費計 (A)		千円	750	445	250	250	250	250	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	16	16	16	16	16	16		
		人件費計 (B)	千円	63	63	63	63	63	63	0	
		(A)+(B)		千円	813	508	313	313	313	313	0
活動指標	アイウ	回	円	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	アイウ			750.0	445.0	250.0	250.0	250.0	250.0		
対象指標	アイウ	団体		4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0		
	アイウ										
成果指標	アイウ	回		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
	アイウ										
上位成果指標	アイ	%		55.2	59.4	59.4	59.4				
	アイ										

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成12年度、芦安桃の木ー早川奈良田間の自動車道整備促進を目的として10町村の構成による同盟会が発足
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	中部横断自動車道双葉J.Cー増穂J.C間が開通し、道路交通の利便性は高まってきているものの、国政における政権交代や経済状況の悪化により、周遊自動車道の実現は厳しい状況となっている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	周遊自動車道開通による受益が大きい早川町では特に強く要望している。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☒ 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過（取り組みしていない場合はその理由）	現時点では、定期総会への出席、負担金の納入のほか同盟会活動として県への陳情を行っている。その他、国・県の動向を注視し情報収集を行っている。H23年度からH24年度にかけて南アルプス自然遺産登録に向けた中での、周遊道の位置づけについて委託調査を実施するよいてである。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	山梨総合研究所へ南アルプス自然遺産登録を推進する中での、周遊道の活用方法や意義、位置づけについて調査を委託。

事務事業名	南アルプス周遊自動車道整備促進期成同盟会参画事業	所属部	総合政策部	所属課	政策推進課
-------	--------------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 周遊自動車道へのアクセス道路の整備促進により、芦安地区への道路環境の向上と交通量の増加が見込め、芦安地区住民の利便性向上と地域振興が図れることから、上位目的に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 道路網整備は公共的な側面が大きいため妥当といえる。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直し余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 計画区域内の市町村で構成されており、情報共有や人事交流など広域的な連携が促進される。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 4市町での活動となるため、向上の余地はない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☐ 休止・廃止ができる ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 芦安地区の振興策とも関連するため、本市にとっても重要事項である。同盟会の脱退は、情報収集や広域での連携に影響が出る。 芦安地区の振興策の一環であり、休止・廃止は不可能である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 負担金額は定額であり、事業費の削減余地はない。(H23・24年度は委託調査費を追加で計上したので増額となる)
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在は最小限の事務事業しか行っていないため、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 芦安地区の振興のみならず、観光面など事業効果は市全体に波及すると思われるため、公平・公正といえる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	現状では、事務事業の見直し余地はないと考えられる。桃の木・奈良田間のトンネル建設には75億との資産もあり、市が実施するには費用対効果の面で難しいため、加盟団体の動向を注視しながら国・県に対し事業実施を要望していくことが必要といえる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①		(5) 事務事業優先度評価結果																						
②		成果優先度評価結果	⑫																					
③		コスト削減優先度評価結果	⑥																					